



まちのできごと

12/28 雄武町へ500万円の寄附 あたたかいご寄附

ZOZO (ゾゾ) 創業者の前澤友作氏が昨年11月に、全国の自治体に宛て8億円分のふるさと納税の寄附先を募集していましたが、雄武町は『まちづくりは人づくり』を寄附金活用のテーマとして応募したところ、雄武町を含む全国150自治体に寄附をいただける結果となり、この日、雄武町へ500万円の寄附がありました。

今後はテーマに沿って有効に活用していく考えです。



↑ ZOZO 創業者の前澤友作氏

↓ 参加者 37 人による演奏



12/20 雄武町吹奏楽フェスティバル 念願の演奏会

この日、雄武中学校、雄武高校の両吹奏楽部と大人吹奏楽バンドが合同演奏会「雄武町吹奏楽フェスティバル」を町民センターで開催しました。

演奏会では「さくらのうた」のほか有名曲などを各団体数曲ずつ演奏、最後は参加者37人で「アフリカシンフォニー」など2曲を披露し、来場者から大きな拍手が送られました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で演奏を披露する場を模索するなか、入場制限や検温などの対策を行いながらの念願の演奏会となりました。

↓ おもちゃを掃除する児童たち



12/28 ピカピカ大掃除 一年の汚れを大掃除

児童センターを利用している児童たちが、日頃の感謝の意味を込め、大掃除を実施しました。子どもたちは館内の棚や机、おもちゃなどのいつも使用している用具を丹念に掃除をしました。細かいおもちゃを掃除していた児童は「大変だけどきれいになって嬉しい」と言いながら一生懸命に拭いていました。最後には、全員で遊戯室の雑巾掛けをし、綺麗になった館内を見て嬉しそうな表情を見せていました。

1/22 幌内地区避難所運営体験 避難所運営体験を実施

令和2年度において、町が購入整備した、ダンボールベッド、パーテーション、ファミリールーム、プライベートルームの設置方法や発電機によるジェットヒーターの使用法についての避難所運営体験を幌内地区において実施しました。

避難所運営体験は、本年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で総合防災訓練が実施できなかったことから、地区別の避難所運営体験を計画しているものであり、今後も引き続き実施を予定しています。



↑ 避難所運営体験に参加する幌内地区の町民

↓ 納入式の様子



12/22 消防車納入式 新型ポンプ車配備

この日、紋別地区消防組合消防署雄武支署で納入式が行われ、新たなポンプ車(水槽付消防ポンプ自動車)が配備されました。

納入式では、ポンプ車の概要が説明され、神酒をタイヤにかけ安全祈願を行った後、石井町長が「活躍できることを願います」とあいさつしました。

新たに配備されたポンプ車は、総排気量が8,866ccで、5,000ℓの水槽容量があり、電動式はしご昇降装置、泡消火薬剤自動混合装置など、最新鋭の機能が搭載されており消火活動などでの活躍が期待されます。

1/20 NPO法人おうむプロジェクト 益子町「とちおとめ」を寄贈 いちごににっこり

NPO法人おうむプロジェクトから、若草保育所と雄愛園に、雄武町と交流のある栃木県益子町の特産のいちご「とちおとめ」の寄贈がありました。

例年実施していた益子町との交流が新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年度は中止となったことから、益子町との交流の一環として同法人がいちごを購入したものです。

保育所に寄贈されたいちごは給食で振舞われ、園児たちはいちごをほおぼり、「甘くて美味しい」と笑顔を見せていました。



↑ 寄贈されたいちごを食べる園児